

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公表番号】特表 2005-531364 (P2005-531364A)
【公表日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)
【年通号数】公開・登録公報 2005-041
【出願番号】特願 2004-517661 (P2004-517661)
【国際特許分類】

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/56

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 19 日 (2006.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

部材と、摩擦嵌合によって前記部材の中に受入れられるガイドワイヤと、前記摩擦嵌合に打ち勝つようにガイドワイヤに力を与えてガイドワイヤを前記部材に対して前進させるためのガイドワイヤ押し出し部とを備えた外科用具。

【請求項 2】

前記部材が、ガイドワイヤを摩擦嵌合で受入れるガイドワイヤ保持部を備える請求項 1 記載の外科用具。

【請求項 3】

前記部材が、ハンドルと、ハンドルに結合されたシャフトとを備える請求項 1 記載の外科用具。

【請求項 4】

前記ワイヤガイドが、柔軟組織と骨とを貫通する鋭利な先端を有する請求項 1 記載の外科用具。

【請求項 5】

前記部材が、骨に穴を形成するための穿孔用チップを有する請求項 1 記載の外科用具。

【請求項 6】

前記ガイドワイヤ押し出し部は、前記部材が骨の中へ前進できる深さを制限するように前記部材に対して構成されている請求項 1 記載の外科用具。

【請求項 7】

前記部材は、ガイドワイヤ押し出し部が前記部材とガイドワイヤ押し出し部との間の相対的な移動を制限するために、ガイドワイヤ押し出し部が接触する内部肩部を形成する請求項 6 記載の外科用具。

【請求項 8】

前記部材が手術部位に導かれているときにガイドワイヤが予め組立てられて前記部材内に固定され、ガイドワイヤが骨に挿入され前記部材がガイドワイヤに対して引き込まれるときに摩擦嵌合が打ち勝つような摩擦嵌合を与えるべく前記部材が形成された請求項 1 記載の外科用具。